

全国国立大学図書館長会議開かる

本年度の館長会議は、名古屋大学を会場として、6月20日より3日間にわたって開催された。昨年までは館長会議とともに、文部省主催の研究集会が開催されていたが、本年度からは、研究集会じたいも館長会議が主催することになったことが、本年の新しい試みであった。

本年からは、新しく発足した北見工大も加わり、参加館は74館になった。それに例年の通り琉球大学も、オブザーバーとして遠路参加された。

第1日は午前中の委員会のあと、13時から開会、一般報告、各種委員会報告があった。このうち、相互協力活動委員会は近畿地区が担当してきたので、本館から報告を行なった。

第2日午前は研究集会で、本年は館長会議の組織強化について討論した。ここで出された意見をもとに、組織強化に関する特別委員会を設けることになった。午後は各地区から提案された議題を、予算関係、人事関係、奉仕関係の3つに大別し、3つの分科会を作り、分科会ごとに討論した。

第3日目は分科会の報告と、各種の表彰および全体のとりまとめが行なわれ、指定図書費、図書館維持費の増額、図書館職員の増員問題等について、それぞれ関係方面に要望することになった。

本年の館長会議でとくに印象的であったのは、図書館問題の解決について、自主的に解決していこうとする姿勢が強く打出されたことであった。従来のやり方を一変したので、会議が混乱することも予想されたが、それをよく克服しえたのも、自主的な姿勢の強化であったと思う。

資 料

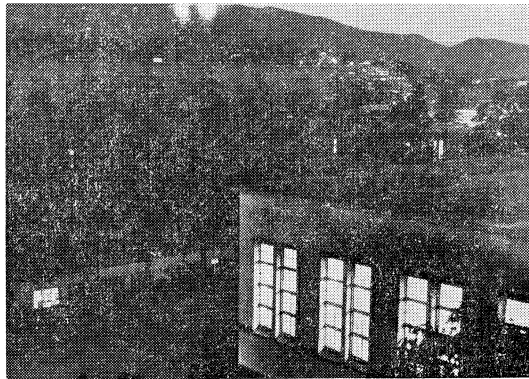
○ 教 官 文 庫

前号に引続き学生諸君の利用を待っている、最近着の教官文庫を紹介する。

- 「家族法判例集成」 太田武男編（人文科学研究所助教授）京都大学人文科学研究所 昭39刊 700P
- 「大学教育と数学」 森 毅著（教養部助教授）総合図書 昭42刊 287P
- 「環境の衛生学」 庄司 光著（工学部教授）光生館 昭42刊 369P
- 「都市交通と都市計画」 米谷栄二（工学部教授）加藤 晃共著 技術書院 昭42刊 111P

○ 学内学生団体よりの寄贈

本学には学生のサークル活動が数多くあり、スポーツ、学習、趣味などを通して、より実り多い学生生活がめざされているが、最近、それらのサークルの一つである鉄道研究会より、その研究発表誌たる「京都大学鉄道研究会雑誌」（1961～1965）が寄贈された。同研究会では、今まで雑誌は西部のボックスにおいてあったが、いつの間にか紛失したり、汚損したりするので、今後はその1部づつを図書館に製本して寄贈し、もって京都大学の続く限り全学



たそがれ時の閲覧室